

令和7年度 中学校教育課程

教科	1年	2年	3年	時間数	備考
国語	5	4	4	13	
書写	1	1	1	3	
社会	3	4	4	11	
数学	6	4	5	15	
理科	3	4	4	11	2、3学年は土曜授業を含む
音楽	1.29	1	1	3.29	
美術	1.29	1	1	3.29	
保健体育	2	2	2	6	
武道	1	1	1	3	2年次より柔道・剣道のいずれかを選択
技術家庭	2	2	1	5	
外国語(英語)	7	5	5	17	
小計	32.58	29	29	90.58	
道徳	1	1	1	3	
特活(LHR)	1	1	1	3	
総合的な学習の時間	2	2	2	6	
合計	36.58	33	33	102.58	

(注)

- ・ 授業時間は1時間を50分とする。
- ・ 音楽は「歌舞伎鑑賞教室」、「能楽鑑賞教室」等を含む。
- ・ 美術は「芸術鑑賞教室」等を含む。
- ・ 総合学習には「移動教室」、「文化祭」、「弁論大会」等を含む。
- ・ 第2、3学年の土曜日を「flexible Saturday」として柔軟な授業設定をし一定期間(3か月、前、後期)で学習計画を立てる。

令和7年度 中学校使用教科書

種目	発行者	教科書名	学年		
国語	東書	新しい国語	第1学年	第2学年	第3学年
書写	光村	中学書写	第1学年		
	東書	新しい書写		第2学年	第3学年
地理	帝国	社会科 中学生の地理	第1学年		
歴史	帝国	社会科 中学生の歴史		第2学年	
公民	東書	新しい社会 公民			第3学年
地図	帝国	中学校社会科地図	第1学年		
数学	啓林館	未来へひろがる数学	第1学年	第2学年	第3学年
理科	啓林館	未来へひろがるサイエンス	第1学年	第2学年	第3学年
音楽	教出	中学音楽 音楽のおくりもの 1	第1学年		
	教出	中学音楽 音楽のおくりもの 2・3上下		第2学年	第3学年
器楽	教出	中学器楽 音楽のおくりもの	第1学年	第2学年	第3学年
美術	開隆堂	美術1	第1学年		
	日文	美術2・3上 学びの実感と広がり		第2学年	第3学年
	日文	美術2・3下 学びの探求と未来		第2学年	第3学年
保体	大修館	最新 中学保健体育	第1学年	第2学年	第3学年
技術	開隆堂	技術・家庭 技術分野	第1学年		第3学年
家庭	開隆堂	技術・家庭 家庭分野		第2学年	第3学年
英語	三省堂	NEW CROWN	第1学年	第2学年	第3学年
道徳	東書	新訂 新しい道徳	第1学年	第2学年	第3学年

教科	国語	科目	国語	授業 時数	週4時間	教材	新しい国語(東京書籍) 論理エンジンOS5	種 別	中学
学年 組 類型	中学校3年1組, 2組								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	恋歌を詠む				若の鑑賞の仕方を理解する			
		万葉・古今・新古今				和歌が詠まれた背景や作者の心情を理解する			
	5月	百科事典少女				人物の考えや人物同士の関係を捉える			
	6月	絶滅の意味				論の進め方や説明の仕方を理解する			
	7月	第1回定期試験							
夏 休 み		夏休みの宿題							
前期	9月	俳句の読み方、味わい方				俳句の鑑賞の仕方を理解する			
		俳句五句				俳句を鑑賞し味わう			
		おくのほそ道				作者の心情に注意して作品を読み、古典の世界を味わう			
後期	10月	「おくのほそ道」の旅				おくのほそ道の理解を発展させる			
	11月	「利己」と「利他」 受け取る「利他」				利他について理解する 文章に表れているものの見方や考え方を理解する			
		第2回定期試験				構成や表現の特徴を捉える 先人たちの考えを理解する			
	12月	論理エンジン				入試対策			
冬 休 み		論理エンジン							
後期	1月	初恋				文語定型詩を味わう			
		レモン哀歌				効果的な表現を味わう			
	1月、2月	いつものように新聞が届いた				防災に対する意識を高める			
		形				作品に表れているものの見方や考え方を理解する			
		第3回定期試験							
春 休 み									

備考

(1)特徴

- ・「論理エンジン」を使い言語と論理力を磨き国語力をあげる。
- ・「日本語能力検定」を受検することで論理力、コミュニケーション能力の確認をする。
- ・「日本漢字能力検定」を受検することで四字熟語などの基礎的な知識や丁寧な漢字の書き取りを確認する。
- ・受験対策を行う。

(2)使用教材

- ・教科書
- ・ノート(縦書き)
- ・国語便覧(資料集／3か年使用)
- ・漢検学習漢字トレーニング(漢字力養成／3か年使用)
- ・新しい国語ワークブック3(予習復習・家庭学習用)
- ・新しい国語 新出漢字の学習(予習復習・家庭学習用)
- ・論理エンジン OS5(41～50)
- ・論理エンジン 誌上講義 OS5(予習復習・家庭学習用)

(3)試験

- ・第一回 試験範囲＝【説明文】絶滅の意味・【小説】百貨店少女・【古典】万葉・古今・新古今
- ・第二回 試験範囲＝【説明文】受け取る「利他」・【小説】風の歌・【古典】おくの細道
- ・第三回 試験範囲＝【説明文】いつものように新聞が届いた・【小説】形・【古典】初恋・レモン哀歌

教科	国語	科目	書写	授業 時数	週 1 時間	教材	東京書籍 新しい書写	種別	中学
学年 組 類型	中学校3年1組, 2組								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	書写の学習について。 用具用材について。姿勢。用筆法。				毛筆と硬筆の違い。姿勢、筆記具の持ち方、点画の書き方と字形。日常生活または災害などの緊急時に使用する文字について調べる。			
	5月	楷書の練習。 漢字と仮名を調和させて書こう。 身の回りの文字の目的と工夫。				字形、文字の大小、配列・配置の調和。 毛筆と硬筆の違い。			
	6月	行書の練習。 漢字と仮名を調和させて書こう。 文字の歴史を知る。 暑中見舞い。				基本的用筆と省略の方法。読みやすく、速く書く。 古代から現代に至るまで続いている時の編纂を知り、どのような役割を果たしてきたかを知る。			
	7月	日常生活のなかで行書をいかす。 漢字と仮名を調和させて書こう。				目的や必要に応じた書き方の工夫。			
夏 休 み		鑑賞				日常生活にある書を探求			
前期	9月	漢字と仮名を調和させて書こう。俳句、作品制作。				丁寧を書く。 点画の変化。平仮名、カタカナの位置付け。 楷書と仮名の調和。			
		防災の用語を書く。				防災の用語を書くことで、防災に関する意識を高める。			
後期	10月	漢字と仮名を調和させて書こう。俳句、短歌。				いろは単体の反復練習。行書と仮名の調和。速く書くための筆脈の取り方と省略。			
	11月	漢字と仮名を調和させて書こう。 書の古典。『蘭亭序』				読みやすい漢字(楷書・行書)と仮名を調和させて速く書く。臨書を理解する。			
	12月	漢字と仮名を調和させて書こう。書き初めの練習。				漢字と仮名の大きさ。字形。行の中心。余白・字間・行間の取り方。用紙の大きさによる変化。			
冬 休 み		書き初め。				宿題。			
後期	1月	『校内書き初め展』 書写を生活の中に生かす。				臨書。封筒、便箋、はがき、色紙、ポスターに書くときの毛筆と硬筆の違い。			
	2月	書写を生活の中に生かす。				短冊、八つ切り、封筒、便箋、絵はがき、色紙、ポスターに書くときの毛筆と硬筆の違い。			
春 休 み									

教科	社会	科目	社会(公民)	授業 時数	週4時間	教材	新編新しい社会 公民 (東京書籍)	種 別	中学
学年 組 類型	中学校3年1組, 2組								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	第1章 現代社会と私たち 1.現代社会の特色とわたしたち 2.わたしたちの生活と文化 3.現代社会の見方や考え方				我々が生きる現代社会を概観させることで、公民的分野への関心を高めさせ、今後の公民学習につなげる。 現代社会の特色として、グローバル化、情報化、少子高齢化などが見られることを理解させる。 日常生活の中に様々な文化が見られることに気づき、関心を持たせる。 社会の形成者として、個人の果たすべき責任について考えさせる。			
	5月	第2章 個人の尊重と日本国憲法 1.人権と日本国憲法 2.人権と共生社会 3.これからの人権保障				日本国憲法の制定の意義について、大日本帝国憲法と比較し理解させる。 新しい人権について具体的な事例を紹介しながら理解させる。			
	6月	第4章 わたしたちの暮らしと経済①				経済活動の意義、経済のしくみを消費生活を通して理解する。			
		【防災学習】東日本大震災とお金の話				経済分野に関連付けて、東日本大震災の被害額・国が行った支援の総額などお金の動きについて学ぶ。			
	7月	1.消費生活と経済 2.生産と労働①				身近な消費生活の事例を基に、暮らしと経済との関係に気づかせる。 企業の生産活動が、家計によって提供される労働力などの資源を投入して行われていることに気づかせる。			
第1回定期試験 (試験範囲:上記単元項目)									
夏 休 み		宿題 「税」についての作文を書く 「税の標語」をつくる				「税」について作文・標語を作成する。			
前期	9月	第3章 現代の民主政治と社会① 1.現代の民主政治				具体的な事例を通じて現代日本の政治に関心を持ち、将来の「主権者」としての自覚を持つ。 多数決の原理や選挙の仕組み、政党や与論の役割などについて理解させる。			
		第4章 わたしたちの暮らしと経済② 2.生産と労働②				労働条件を改善するために労働組合やさまざまな法律があることを理解する。 現代日本の労働や雇用にはどのような特色と課題があるか考える。			
後期	10月	第3章 現代の民主政治と社会② 2.国の政治の仕組み				具体的な事例や時事的な話題を通して国会・内閣・裁判所の仕組みや役割に関心を持たせる。 国会・内閣・裁判所の地位や役割、相互関係、三権分立の仕組みを理解させる。			
	11月	第4章 わたしたちの暮らしと経済③ 3.市場経済の仕組みと金融				市場経済の基本的な考え方を理解し、市場における価格の決まり方や資源の配分について理解させる。 需要量・供給量と価格の関係や、市場競争、独占・寡占について、その特徴を理解させる。			
		第2回定期試験 (試験範囲:上記単元項目)							
12月		4.財政と国民の福祉				租税の仕組みや特徴を理解し、税の負担者として税金の使い方に関心を持たせる。			
み 冬 休		課題学習				冬休み前に指示する			
後期	1月	第3章 現代の民主政治と社会③ 3.地方自治と私たち				民主主義の原点としての「地方政治」について理解を深め、国政に活かすことを考察する能力を身につける 地方自治の考え方や仕組み、地方財政の仕組みについて理解させる。			
	2月	第4章 わたしたちの暮らしと経済④ 5.これからの経済と社会				公害の防止など、日本経済の諸課題に関する学習を行い。自分の考えをまとめさせ、発表させる。 豊かな社会とはどのような社会が考えさせ、その社会の実現のために何が必要か、自分の考えを表現させる。			
		第5章 地球社会と私たち 第3回定期試験 (試験範囲:上記単元項目)				国際社会の抱えている地球的・人類的課題とその解決のための努力を理解し、国際社会への関心を高める。			

教科	数学	科目	数学	授業 時数	週5時間	教材	啓林館 未来へひろがる数学3	種 別	中学
学年 組 類型	中学校3年1組, 2組								
時期		項目			到達目標				
前期	4月	1章 式の展開と因数分解 1. 式の展開と因数分解 2. 式の計算の利用			ア.単項式と多項式の乗法、除法の計算、一次式どうしの乗法の計算、および、公式を用いた式の展開や因数分解ができるようにする。 イ.式の展開や因数分解を利用して、数量の関係や図形の性質をとらえ説明できるようにする。				
	5月	2章 平方根 1. 平方根 2. 根号をふくむ式の計算 3. 平方根の利用			ア. 数の平方根の意味を理解し、その数の必要性を理解する イ. いろいろな数を数直線上に表したり、小数で分類したりすることを通して、有理数、無理数についての理解を深める。 ウ. 根号を含む簡単な式の計算や変形ができるようにする。				
	6月	試 験(1・2章)							
	6月	3章 二次方程式 1. 二次方程式 2. 二次方程式の利用			ア. 二次方程式の必要性和意味、その解の意味を理解する。 イ. 平方根を求める方法と、解の公式を用いて二次方程式を解けるようにする。 ウ. 因数分解を利用して二次方程式を解けるようにする。 エ. 二次方程式を具体的な場面で活用し、問題解決ができるようにする。				
	7月	第1回定期試験(2・3章)							
夏 休 み	7月・8月	夏 期 課 題							
前期	9月	◎ 防災学習			数学を通して防災について学ぶ。				
		4章 関数 $y=ax^2$ 1. 関数とグラフ 2. 関数 $y=ax^2$ の値の変化 3. いろいろな事象と関数			ア. 事象の中には関数 $y=ax^2$ としてとらえられるものがあることを知る。 イ. 表、式、グラフと相互に関連付けて理解する。 ウ. 具体的な事象をとらえ、説明できるようにする。 エ. いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解する。				
後期	10月	5章 図形と相似 1. 図形と相似 2. 平行線と線分の比			ア. 平面図形の相似の意味と相似な図形の性質を理解する。 イ. 相似条件を知り、図形の性質を証明できるようにする。 ウ. 平行線と線分の比の性質を活用できるようにする。 エ. 三角形の midpoint 連結定理を理解する。				
	10月	試 験(4・5章)							
	11月	2. 平行線と線分の比 3. 相似な図形の計量 4. 相似の利用			オ. 基本的な立体の相似の意味と、相似な図形の相似比と面積比および体積比の関係について理解する。 カ. 相似な図形の性質を、さまざまな場面で活用することができるようにする。				
		6章 円の性質 1. 円周角と中心角 2. 円の性質の利用			ア. 円周角と中心角の関係の意味を理解し、それが証明できることを知る。 イ. 円周角の定理の逆の意味を理解する。 ウ. 円周角と中心角の関係などの円の性質を、具体的な場面で活用して論理的に考察し、それを説明できるようにする。				
	11月	7章 三平方の定理 1. 三平方の定理 2. 三平方の定理の利用			ア. 直角三角形を用いて、三平方の定理を見いだす。 イ. 三平方の定理が証明できることを理解する。 ウ. 三平方の定理とその逆の意味を理解する。 エ. 三平方の定理を用いて考察したり、具体的な場面で活用したりできるようにする。				
		11月	第2回定期試験(5・6・7章)						
	12月	8章 標本調査 1. 標本調査			ア. 標本調査の必要性和意味を理解する。 イ. 簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向をとらえ説明できるようにする。				
	冬 休 み	12月・1月	冬 季 課 題						
	1月・2月	◎ 中学校3年間の復習			ア. 中学校3年間に扱った内容を理解する。 イ. 高等学校入試の過去問題等に取り組む。				
	2月	第3回定期試験(中学校3年間の内容)							
春 休 み									

教科	理科	科目	理科	授業 時数	週4時間	教材	未来へひろがるサイエンス3 (啓林館)	種別	中学
学年 組 類型	中学校3年1組, 2組								
時期		項目			到達目標				
前期	4月	生命: 生命の連続性 1章 生物のふえ方と成長			さまざまな生殖方法と細胞分裂のしくみを理解する。				
	5月	2章 遺伝の規則性と遺伝子			減数分裂から生物の発生について理解し、メンデルの遺伝法則、遺伝子の構造について理解する。				
		3章 生物の種類の多様性と進化			生物の体の特徴から進化の流れを理解する。				
	6月	地球: 宇宙を観る 1章 地球の運動と天体の動き 1章 地球から宇宙へ 2章 太陽と恒星の動き 3章 月と金星の動きと見え方			太陽系の天体について知識を深める。 四季による太陽と地球の位置関係の変化を理解する。 地球から見た月の様子と月食日食について理解する。				
	7月	第1回定期試験			生命: 生命の連続性 地球: 宇宙を観る				
夏 休 み		宿題							
前期	9月	物質: 化学変化とイオン 1章 水溶液とイオン 2章 電池とイオン			原子の構造とイオンの成り立ちを理解する。 イオン化傾向と電池のしくみを理解する。				
後期	10月	3章 酸、アルカリと塩 エネルギー: 運動とエネルギー			酸・塩基の性質とその強弱を身近な物質から理解する。				
	11月	1章 力の合成と分解 2章 物体の運動 3章 仕事とエネルギー 4章 多様なエネルギーとその移り変わり			身近な例から力の合成と分解のしくみを理解する。 さまざまな運動の規則性を理解する。 仕事と力学的エネルギーについて理解する。 さまざまなエネルギーがあることを理解し、色々な種類に移り変わることを理解する。				
	12月	5章 エネルギー資源とその利用 第2回定期試験			日本のエネルギー問題とその現状を理解する。				
					物質: 化学変化とイオン エネルギー: 運動とエネルギー				
冬 休 み		宿題							
後期	1月	環境: 自然と人間 1章 自然界のつり合い 2章 さまざまな物質の利用と人間 3章 科学技術の発展			生物どうしのつながりを理解する。 身のまわりの物質の特徴と問題点を理解する。 科学技術の発展と環境の変化を考える。				
	2月	4章 人間と環境 ※防災の技術に関する授業を行う			人間の活動が自然界にどのような影響を与えるか理解する。				
		5章 持続可能な社会をめざして 第3回定期試験			環境問題とその取り組み、保全活動について知る。				
					環境: 自然と人間				
春 休 み					※各時期に、必要に応じて実験、実習をおこなっていく。				

教科	音楽	科目	音楽	授業 時数	週1時間	教材	音楽のおくりもの 中学音楽2・3下 (教育出版) 音楽の基本ワーク 2・3年下(新学社) レッツ・コーラス!(音楽之友社)	種別	中学
学年 組 類型	中学校3年1組, 2組								
時期	項目				到達目標				
履修前期	歌唱「故郷」 歌唱「荒城の月」 歌唱「明日へ」 楽典Ⅴ「楽典Ⅰ～Ⅳの復習」 鑑賞「ブルタバ(モルダウ)」 実技試験				歌詞の内容を味わいながら、全体の響きを感じ取って歌う。 曲の形式を生かし、表現を工夫する。 自分のパートの役割を理解して歌う。 音楽の基礎知識を身につける。 曲想と曲全体の構成との関わりを考えながら鑑賞する。				
履修後期	合唱「心の瞳」 歌唱「手紙～拝啓 十五の君へ～」 歌唱「旅立ちの日に」 音楽史 災害時における音のはたらき 発表(実技試験扱い)				自分のパートの役割を理解して歌う。 各パートとの関わりを考えながら表現豊かに歌う。 音楽の歴史と代表的な作曲家、作品を知る。 防災と音の関わりについて学ぶ。				
備考	前期 1組:美術 2組:音楽 (第1回定期試験実施) 後期 1組:音楽 2組:美術 (第3回定期試験実施)				【定期試験範囲】 第1週「故郷」～第12週「音楽史」				

教科	美術	科目	美術	授業 時数	週1時間	教材	美術(日本文教出版)	種 別	中学
学年 組 類型	中学校3年1組, 2組								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	マンガ表現を学ぶ				世界的に知られる日本の漫画表現を体験し、より多角的視点を獲得し考察する力を養う。			
	5月	自画像について(鉛筆素描)				自画像をとおして自己を見つめ直し、また他者と認め合う。鉛筆での表現を学ぶ。			
	6月	日本(和)の美を学ぶ(寄木細工)				伝統工芸をとおして自国の芸術文化に誇りを持ち、国際人の自覚を持てるようになる。			
	7月	第1回定期試験				美術(一学期の復習含む)			
夏 休 み									
前期	9月	防災デザインを考える(物・事・建築 etc.)				防災意識を高め、効果的なデザインを生み出す。			
後期	10月	防災デザインを考える(物・事・建築 etc.)				防災意識を高め、効果的なデザインを生み出す。			
	11月	マンガ表現を学ぶ				世界的に知られる日本の漫画表現を体験し、より多角的視点を獲得し考察する力を養う。			
	12月	日本(和)の美を学ぶ(寄木細工)				伝統工芸をとおして自国の芸術文化に誇りを持ち、国際人の自覚を持てるようになる。			
冬 休 み									
後期	1月	自画像について(鉛筆素描)				自画像をとおして自己を見つめ直し、また他者と認め合う。鉛筆での表現を学ぶ。			
	2月	第3回定期試験				美術(後期の復習含む)			
備考		〈使用画材・教材〉 画用紙・鉛筆・消しゴム・練り消し・アクリル絵具・筆・カッター・のこぎり・木 等 前期 1組:美術 2組:音楽 後期 1組:音楽 2組:美術							

教科	保健体育	科目	体育	授業 時数	週2時間	教材	最新中学校保健体育(大修館書店) ステップアップ中学体育(大修館書店)	種 別	中学	
学年 組 類型	中学校3年1組, 2組(男子)									
時期		項目				到達目標				
前 期	2週	【ガイダンス】 【集団行動】 挨拶、集合、整頓、方向変換などの行動様式や授業時の「きまり」や「約束ごと」を理解させる。				【防災教育】 「生命を守る」ことにおいて体育と防災教育は共通することを理解する。 各種目を通して体育で育成される体力・運動能力を、災害から身を守る行動に役立てる。 集団行動のおもな行動様式を身に付け、機敏・的確に行動する。 集団の約束やきまりを守り、お互いに協働して行動する。				
		5週	【保健】 保健⑤ 健康な生活と病気の予防③ 1. 感染症と病原体 2. 感染症と体の抵抗力 3. 感染症の予防 4. 性感染症とその予防 ＜最後の1時間で授業内試験を実施＞							
			【ダンス】 1) 基本的運動 ・歩く、回る、止まる、走る、跳ぶなどの基本的な運動の習得。 2) モチーフ作り ・伸びる、縮むなどの動きを合わせ、1群で同方向、2～3群で方向、時間を交える。 3) 動作の連続 ・フリーズ作りと変化・発展的な動きを生かし、少人数による作品作り。 4) 試験							
	2週	【保健】 保健⑤ 健康な生活と病気の予防③ 5. エイズとその予防 6. 保健機関とその利用 7. 医療機関とその利用 8. 医薬品の正しい使い方 ＜最後の1時間で授業内試験を実施＞				感染症は、どのようにして起こるのか理解する。 病原体は、どのように広がっていくのか理解する。 病原体に対して体は、どのように対応するのか理解する。 抵抗力を高めるためには何が必要か理解する。 病原体を体に入れない為にはどのような対策が必要なのか理解する。 かかってしまった場合には、どのようすればよいのか理解する。 性感染症とはどのような病気なのか理解する。 性感染症は、どうすれば予防できるか理解する。				
		3週	【体づくり運動】 ＜新体力テスト＞ 握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・50m走・20mシャトルラン・立ち幅跳び・ハンドボール投げ				グループごとに題材のイメージにふさわしい動きを表現できると、表現力豊かに気持ちを込めて踊ることができるようにする。			
							エイズは、どのような病気なのか理解する。 エイズは、どうすれば予防できるのか理解する。 健康を守るために、なぜ社会の取り組みが必要なのか理解する。 保健所、保健センターは、どのようなサービスを提供しているのか理解する。 医療機関にはどのような種類があるのか理解する。 私たちは、どのように医療機関を活用したらよいか理解する。 医薬品は、どのようにして病気を治すのか理解する。 医薬品を用いる場合に注意すべき点は何か理解する。			
レポート課題										
後 期	5週	【バスケットボール】 1) 集団的技術 ・2対1、3対2の攻防、3対3の攻防 2) ゲーム				中学1年次に習得した、個人の基本的な技術(パス、ドリブル、シュートなど)を用い、集団の中での技術を習得し、状況に応じたパスやドリブル、シュートなどのボール操作と、その守りなどをチームメイトと連携してゲームを展開できるようにする。				
		2週	【持久走】 1) グループ走 ・自分に適したペースを維持して走る ・ピッチ走法とストライド走法 2) 腕振りと呼吸法の習得				持久力の向上や効率の良いフォームを維持して走ったり、ペース配分考えて走ったりすることができるようにする。			
	3週		【サッカー】 1) 基本的技術 ・ボールコントロール、各種キック ・パス、ドリブル、シュート 2) 集団的技術 ・パスグリッド内での2対1、3対1 ・ミニゲーム(2対2、3対3) 3) ゲーム(7対7、11対11)				基本的技術のパス、シュートドリブル、トラップなどを身に付け、基本的なキックやトラッピングを用いて、集団的な技能ではパス(ショートパス、ロングパス)、ドリブルを使った攻撃とそれに対する防御を身に付け、ゲームができるようにする。			

[illegible]

教科	保健体育	科目	武道(柔道)	授業 時数	週1時間	教材	種 別	中学
学年 組 類型	中学校3年1組, 2組(選択)							
時期		項目			到達目標			
前期	4月	学習のねらい 大腰の復習・背負い投げ(かかり練習・投げ方・受身の取り方)			柔道の歴史や精神を学び、伝統的な礼法を身につけることで、礼儀正しく、互いに相手を尊重する態度を養う。特に礼法を習慣づける。また柔道の基本動作を身につけさせ、さらに発展させて個々の個人的技能の修得を図る。全て安全最優先で行う。			
	5月	背負い投げ(かかり練習・投げ方・受身の取り方)			取り受けの呼吸を合わせ正しく受ける。受け身は1回転する受身なので安全性を理解させる。			
	6月	体落としの投げ方			体落としは相手がしっかりと受身が取りやすいように投げる。受けは相手がしっかりと投げやすいように配慮をする。			
	7月	試験			大腰・背負い投げ・相手の崩し方、技の入り方、相手に配慮をした投げ方、受け方を評価する。			
	夏休み							
前期	9月	災害時の武道場からの避難経路確認、身の守り方			安全な経路の確認、自助について学ぶ			
		大外刈り			崩し、作り、掛けの原理を理解させる。相手に配慮をした投げ方			
		背負い投げの復習・応用			相手に配慮をした投げ方、受身の取り方を心がける。			
後期	10月	固め技・袈裟固め・横四方固め			ルールを理解させ、固め技の形と入り方、抑え方を覚える。逃れ方も理解させる。抑えるまでのプロセスを理解させる。ルールを守り固め技の形や決め方が正しく行えるようにする。			
	11月	試験			それぞれの技を、3回打ち込み→投げる・打ち込み・相手に配慮をした投げ方、受身の取り方を評価する。			
	12月	投げ技、固め技の復習・応用			どの方向に投げられても確実に受身をとれること。			
冬休み								
後期	1月	背負い投げの移動練習(前後左右)			前後左右のすべての技の入り方を覚えること。崩しの原理をしっかりと理解して正しく行う。			
	2月	寝技・立技の自由練習			初めは約束稽古を行い少しずつ強度を上げて行えるようにする。(受け身は正確にする)安全最優先で行わせる。			
	3月	試験			体落とし 3回打ち込み→投げる・打ち込み・相手に配慮をした投げ方、受身の取り方を評価する。			
春休み								

教科	保健体育	科目	武道(剣道)	授業 時数	週1時間	教材		種 別	中学
学年 組 類型	中学校3年1組, 2組(選択)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月・5月	《ガイドンス》 3年次の授業内容・学習のねらい				剣道の歴史や精神を学び、伝統的な礼法を身につけることで 礼儀正しく、お互いに相手を尊重する心を養う。また剣道の基 本動作を身につけ、気剣体一致の技を打てる様にする。大きく 正しく出来る様にする。			
		切り返し				切り返しによって、あらゆる基本動作を身につける。			
	6月	基本打ち…二段打ち 小手面 小手胴 三段打ち 小手面胴				姿勢を崩さない様に連続技が出来る様にする。大きく打つ。			
	7月	試験				切り返し			
夏 休 み									
前期	9月	災害時の武道場からの避難経路確認、身の守り方				安全な経路の確認、自助について学ぶ			
		木刀による剣道基本技稽古法… 基本1・2・3				基本技稽古法で礼法・姿勢・間合い・理合い・呼吸を学ばせる。 元立ちと掛手の意味、役割を理解させる。 仕掛け技を覚える。			
後期	10月	基本4・5・6				引き技・抜き技・擦り上げ技を正しく覚える。			
	11月	試験							
	12月	基本1・2・3・4・5・6				木刀による剣道基本稽古法… 基本1・2・3・4・5・6			
冬 休 み									
後期	1月	総合				1級試験を想定した総合練習 切り返し、打ち込み、自稽古 木刀による剣道基本稽古法			
	2月	試験				総合			

教科	技術家庭	科目	技術家庭 (技術分野)	授業 時数	週0.5時間	教材	開隆堂 技術・家庭 (技術分野)	種 別	中学
学年 組 類型	中学校3年1組, 2組								
時期		項目				到達目標			
前期	4月 5月 6月	D.情報の技術 1-1: 生活や社会と情報の技術 1-2: 情報とコンピュータ				・コンピュータシステムの基本構成と機能及びソフトウェアの機能を理解する。 ・コンピュータの基本操作と簡単な文書を作成することができる。			
		ネットワークを用いた防災教育				・ネットワークを用いた災害の予測や災害時の情報収集、整理など社会にどのような影響を与えているのか理解する。			
夏 休 み									
前期	9月	ソフトウェアの活用				・ソフトウェアを用いた情報の集め方を知り、コンピュータの利用分野を広げ、活用できる。			
後期	10月 11月 12月	1-3 情報の表現と伝達 1-4 情報セキュリティと情報モラル				・普段利用しているWebページやアプリには、どのような工夫がされているのか理解する。 ・ソフトウェアを用いて移動教室のまとめを作成し発表する。			
冬 休 み									
後期	1月 2月	1-4 情報セキュリティと情報モラル				・情報技術を用いた事件・犯罪について調べ、様々な種類の脅威があることを理解する。 ・卒業後の目標をまとめ、ソフトウェアを用いて発表する。			
		前後期1・2組授業回数で調整する。							

教科	技術家庭	科目	技術家庭 (家庭分野)	授業 時数	週0.5時間	教材	開隆堂 技術・家庭 (家庭分野)	種 別	中学
学年 組 類型	中学校3年1組, 2組								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	A 家族・家庭と子どもの成長 1 わたしの成長と家族・地域 							

教科	英語	科目	英語, 英語T	授業 時数	週5時間 (うち1時間は英語 T)	教材	NEW CROWN English Series 3	種 別	中学
学年 組 類型	中学校3年1組, 2組								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	L1 Join Us Talk 1 電話でのおさそい listen 電車の運行状況				現在完了形 を理解して使う。 英語T スピーチの技法を年間通して 身につける			
	5月	L2 The Power of Music Talk 2 話し合い listen 遊園地の園内放送				現在完了進行形を現在完了形と現在進行 形の復習を兼ねて理解して使う。			
	6月	L3 Cranes for Peace 防災教育(詳細は備考)				受動態を使い、物語のスタイルの文章の読 み方と分析の仕方を学ぶ			
	7月	[第一回定期試験]							
	夏 休 み	8月 夏休みの課題				苦手分野の克服、入試対策			
前期	9月	L4 Bollywood Movies Talk 3 解決策の提案				後置修飾で人物や物を説明する方法を 身につける。			
後期	10月	L5 Translating Culture Talk 4 話し合い				関係代名詞 を使い、文化について考える			
	11月	L6 Being Fair Reading I Have a Dream スピーチ発表 I Have a Dream [第二回定期試験]				関係代名詞 を使い、公平性、平等について 考える			
	12月	[第二回定期試験] のフィードバック							
冬 休 み	1月	冬休みの課題				苦手分野の克服、入試対策			
後期	1月	L7 Design for Change L8 For our Future 高校入試問題演習				仮定法と間接疑問文 を理解し使う、3年間 を振り返ったり、未来の自分を想像したりし て、自分の思いを表現する			
	2月	【 高校入試 】 [第三回定期試験]							
春 休 み	3月								

備考

外国語教育に期待されることの一つは、多様な価値観を持つ世界の様々な文化や、地球環境などの諸問題に自らを関係づける力をつけることです。ほとんどの生徒にとって、英語は初めて触れる外国語です。コミュニケーション能力が強く求められる現代において、“英語が使える”ことは当然のこととなりつつあります。聞く・話す・読む・書くの4つの技能の学び合いを通して、視野を広げ、同時に自分の考えや、自分たちの文化を外に発信していく力を養います。防災教育として、防災啓発の動画(英語の音声を入れたもの)を作成します。

【英語Tについて】

週1回の英語Tの授業は、英語ネイティブ講師と、日本人教員によるチームティーチングで行います。多様なトピックを題材に、人の前に立って堂々と自分のことや考えを話す練習を積み、最終的に「英語でのスピーチ、ディスカッション」ができるように指導していきます。ゲーム感覚で楽しく語彙を増やししながら、自分のことや考えを上手に人に伝える力と態度を養います。特に、英語音声に力点を置きます。

【英語検定について】

英語検定は年3回実施されます。3年生は、第2回(10月)に学校で全員受検をします。第1回(6月)と第3回(1月)は任意受検ですが、自分の目標に応じて積極的に受検しましょう。

【授業で扱う副教材】

- ・入試必修 Study
- ・新中学問題集
- ・コーパス1800
- ・国士舘高校入学試験問題集
- ・Everybody Up Level 5 (英語Tで使用)

教科	道徳	科目	道徳	授業 時数	週1時間	教材	新しい道徳3 (東京書籍)	種別	中学
学年 組 類型	中学校3年1, 2組								
時期		項目				到達目標			
前期	生徒の状況・ 行事等の関連 で教材・授業 内容を適宜選 択して実施	・エゴグラム診断(4月実施)				・人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動する。 ・自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。 ・人間の尊重と生命の畏敬の念を具体的な生活の中に生かす。 ・国と郷土を愛し、個性豊かな文化の創造に努める。 ・社会の形成者として、公共の精神を尊び、社会・国家の発展に貢献する主体性のある日本人としての自覚を持つ。 ・自ら考え、創造し、実行する力を培い、キャリア形成と結びつけ、活かす力を養う。 ・防災に関する意識を高める。			
夏休み		・自分自身に関すること 自ら考え、責任を持つ/安全で健康な社会/自分の個性をのばす/希望と勇気、強い意志/真理を探究する ・他の人との関わり 思いやり、感謝/礼儀/友情、信頼/認め合う心 ・集団や社会とのかかわり 法や決まり、権利と義務/差別や偏見のない公正・公平な態度/社会や公共の為に役立つ/働くことの尊さ/家族の幸せのために/集団の中の自分の役割/郷土のことを考える/わが国のことを考える/国際理解・国際貢献 ・生命や自然、崇高なものとの関わり							
前期		かけがえない生命/自然を守る/美しいもの、気高いもの、大いなるもの/よりよく生きる喜び/防災							
後期		【グループコミュニケーション】 夢実現の逆算計画(目標思考力を育てる) MITTOMONAI?(道徳教育) クラスLINEの利用を考える(考える力を育てる) 「コトバ」の力(道徳心を育てる)							
冬休み		※エゴグラム診断(10月実施)							
後期		本屋のPOP(想像力を育てる) 上手に断るって?(自己表現力を育てる) 10年後の私からの手紙(目標思考力を育てる)							
春休み									
						※成績は学年末に文章で評価を記載			